

第 26 回保全セミナー 開催案内

<日時> 2026年7月14日(火) 13時～17時(セミナー)、17時～19時(意見交換会)

<会場> 東京大学 浅野キャンパス 武田先端知ビル・武田ホール/オンライン (Zoom)

<テーマ> 原子力の最大限活用に向けて ～既設炉の安全・安定運転及び運用高度化の最新状況～

2025年2月に閣議決定された第7次エネルギー計画では、第6次計画で記載されていた

「可能な限り依存度を低減」との文言が削除され、「原子力を最大限活用する」との方針が明示された。本計画の実現には、安全性の確保を大前提として既設炉の再稼働を推進することに加えて、再稼働を果たした既設炉の安全・安定運転が必要であり、長期運転(60年超)を見据えた設備保全や、保全高度化・安全性向上等、様々な検討が電力・メーカーで行われている。

今回のセミナーは、これらの最新状況を紹介・共有することで、既設炉の安全・安定運転を通して、エネルギー安定供給と脱炭素両立の一助となることを目的としている。

プログラム

開会あいさつ	
13:00～(1)セミナーの目的について	岩佐 佳成(三菱重工)
第一部： 長期運転(60年超)を見据えた取組み	司会：文能 一成(関電プラント)
13:05～(2) 島根原子力発電所2号機 安定運転を見据えた蒸気タービン取替の取組み	川本 泰平(中国電力)
13:40～(3) 柏崎刈羽原子力発電所6/7号機 ABWRデジタル制御装置のフルリプレースの経験と教訓	皆吉 徳文(東京電力HD)
14:15～(4) 川内1/2号機 タービン動補助給水ポンプ国産化	中崎 友哉(九州電力) 牛原 将太(三菱重工)
休憩 14:50～15:05	
第二部： 保全高度化・安全性向上への取組み	司会：山下 理道(東京電力HD)
15:05～(5) オンラインメンテナンス実現に向けた取組み	香川 明彦(四国電力)
15:40～(6) 性能監視を活用した保全合理化	白濱 寿敏(日立GEベルノバ)
16:15～(7) 事故耐性燃料の開発について	篠原 靖周(三菱重工)
閉会あいさつ	
16:50～(8) 総括	岡本 孝司(日本保全学会)
意見交換会(ホワイエ) 17:00～	

<実施形態> ハイブリッド方式：会場あるいはオンラインでの参加

<定員> 会場参加 250名(収容可能)、オンライン参加 100名

<申込方法等> 申込方法等は日本保全学会 HP 及びメルマガでご案内します

お問い合わせ先：日本保全学会事務局

〒110-0008 東京都文京区本郷3丁目2番6号 クレスト山の上ビル3階

Tel：03-5814-5430 Fax：03-6842-8964 Email：secretariat@jsm.or.jp